

TEIKYO UNIV. BASEBALL 2017

帝京大学 硬式野球部



TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2017 BASEBALL



TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2017



TEIKYO

帝京大学 硬式野球部



TEIKYO



TEIKYO UNIVERSITY BASEBALL CLUB

熱く、頂点へ。

熱は伝わる。心も等しく。

灯火が伝播し、またたく間に大炎となることはある。

しかし、そのほとんどは時間の経過とともに去り行く。

熱を保ちつづけることは容易ではない。

その瞳に覚悟の灯を宿し、硬式野球部は今日も走る。

イヤーブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長

冲永佳史

今年度の本学硬式野球部は、昨シーズンの首都大学リーグでベストナインにも選出された木下和哉主将を中心に、結束力で勝負できるチームとなっており、一体感を持って春秋のリーグ戦、そして全国の大舞台で底力を見せてほしいと思います。

一方で、選手のパフォーマンスを側面から支える存在が、学生マネージャーの存在です。2011年に唐澤良一監督が就任して以来、もっとも重要視しているのが、そのマネージャーです。組織を有機的に機能させるうえで、その存在は不可欠であり、今季の藤野直仁、青山拓弥、四條尚彦各マネージャーは、歴代でも屈指の存在と聞きます。さらには、長年にわたりチームに愛情と情熱を注いでこられた野尻久雄部長におかれましては、定年のため今季が最後のシーズンとなっております。普段はなかなか窺い知ることのできない、そういった方々の「献身的な想い」に伝えるためにも、選手たちにはグラウンドで最大限に真価を発揮してほしいと思います。『熱く！頂へ』。帝京大学は昨年、創立50周年を迎えましたが、大学の歴史そのままに歩む本学硬式野球部がそのチームスローガンに向かって、いままで以上に邁進してくれることを願っています。

帝京大学 八王子キャンパス事務長

古張隆

本学硬式野球部2016年度の卒業生である青柳晃洋投手は、昨シーズンNPBでルーキーながら阪神タイガースのローテーションの一角を担い、4勝を挙げる活躍を見せてくれた。

した。身近でともに汗を流した先輩のその雄姿は、さぞや後輩たちの大きな励みとなったことだろう。

聞くところによると、青柳投手も本学入学当時はまだ線が細く、また特別な剛速球を持っているわけではなかったという事です。ただ、とにかく野球が好きで、グラウンドではもちろんのこと合宿所内に設置されている室内練習場やトレーニングルームにおいても、誰よりも多くの時間を鍛錬に費やしていたようです。

いうまでもありませんが、継続は力なりです。現在、大学野球界は群雄割拠の戦国時代を迎えているといわれています。まずはチーム内の競争を勝ち抜き、『首都大学リーグ』でそして全国の大舞台で、青柳先輩に続く活躍を見せてくれることを祈っております。

帝京大学 八王子キャンパス
学生サポートセンターグループリーダー
強化クラブ室 室長

岡野静治

今年度は、首都大学リーグ開幕前にワールドベースボールクラシック2017が開催されました。投手の変化球技術や制球力は絶賛され、野手の守備技術の高さにおいても大きな評価を受け、日本の野球技術の高さを大いに世界に発信できた大会でありました。

しかしこの様な技術を習得するには、日々の練習の取り組みや練習以外の生活の取り組みをどれだけ重要と考え、愚直に実践できるかということに尽きると思います。

野球はチームプレーであり、個人技術だけを高めても勝つことはできません。一つの見落としや確認ミスで致命的なピンチを招くことがあります。普段から基本を忠実に繰り返し作業をしていくことで、ピンチを回避し、チャンスを得るものと信じております。

どうか硬式野球部においても部員一人ひとりが日々の鍛錬を積み上げ、全員野球で今年こそは念願のリーグ戦優勝を勝ち取っていただきたいと切に願います。

厳しいだけでは勝てない時代 選手の意思を尊重したい

帝京大学硬式野球部監督

唐澤良一 インタビュー

チームはもちろん自らも変革の時期を迎えていると強調する唐澤良一監督。ただ厳しいだけでは勝てない時代に突入した大学野球で結果を残すために選手に伝えたいことは。

選手一人ひとりに考えさせる
指導で長所を伸ばす

監督に就任して7年目となる今年、例年以上に手応えを感じているという唐澤監督は、選手たちの技術はもちろん、人間性やチームワークをより大事にする。監督になる12年前からコーチとしてチームを見てきた指揮官はその理由をこう説明する。

「選手それぞれの長所をいかに伸ばすかを一番に考えています。技術指導はもちろんおこないますが、一番大切なことは、選手に考えさせることです」

監督やコーチが一方的に指示を出すのではなく、選手が考えて自ら答えを探すような指導。それが、選手たちの技術はもちろん、人間性やチームワークなど、勝つために必要な要素を養う。

「チームとして全員が同じ方向を向けるようにすることが、チーム一丸となって試合に挑む姿勢につながります。チームが同じ方向を向くために必要なことは、コミュニケーションです。選手たちがそれぞれ考えて主体的に話し合ってくれるチームにしていきたい」

今年の4年生は、一人ひとりが考える力を備えている。

「チームで戦うことの大切さを知っていて、『自分たちが先頭に立とう』と言っている。そういう意味で手応えを感じています」

■PROFILE

1969年生まれ。大阪府出身。帝京大OBとして社会人野球の東芝で活躍(内野手)、日本選手権優勝、都市対抗出場経験も持つ。99年から帝京大でコーチを務め、2010年10月からは監督代行、2011年度監督に就任した。今年で7年めのシーズンを迎える。

「選手たちに選択肢を与え、自ら決断する機会を増やしたい」

監督が決断して選手に伝えるのではなく、選手が考えて決断したことを受け入れる。そうすることで、選手の成長速度が高まると唐澤監督は言う。



毎年、チームのスローガンを選手たちに決めてもらう狙いとは

チームのスローガンは、監督やコーチが決めるのではなく、選手たちに考えてもらっています。今年のスローガンは「熱く、頂点へ」。チームをまとめきれなかった去年の教訓を経て、選手たちが「今年はとにかく熱く戦いたい」と話してくれました。こちらが答えを与えるのではなく、選手たち自身に考える機会を与えて、答えを探す機会を増やすこと。そして選手が目標に向かって主体的に取り組めるように、毎年選手たちに決めてもらっています。

選手が成長するために
監督自ら変わる姿勢を示す

最近では、とくにグラウンドではなく私生活でのコミュニケーションに重きを置く。

「自分の強みは、選手たちと寮で一緒に生活をしていて、グラウンド外でも選手たちとコミュニケーションをとることができることです。親御さんから選手を預かる以上、自分が責任を持って接する必要がある、選手たちには、なによりも学業が大切だということを一番に伝えていきます」

グラウンド外での成長や、人間としての成長が、選手としての成長を加速させると唐澤監督は信じている。そのためには、伝統に捉われるのではなく、ときには変化することも必要なのではないだろうか。

「自分たちの時代はこうだったと言っても、今の選手たちには響きません。彼らにあったコミュニケーションで伝えていくことが大切で、そのためには、まず自分自身が変わらなければいけません」

選手に成長してほしいと願うのであれば、自分自身も成長する必要がある。これこそが、唐澤監督のスタンスだ。監督7年目となる今年も、選手たちに考えさせた「熱く、頂点へ」というスローガンの元、選手たちと共に成長し首都大学リーグの頂点をめざす。

END

「ムードを変える仕事人」



個人目標
打点王

副主将
安随 広樹
Hiroki Anzui

個人目標
首位打者

主将
木下 和哉
Kazuha Kinoshita



「背中引張るリーダー」

「年下でも先輩に意見できる
そんな関係性が出来ている」

「監督と選手の距離感が 本当に近いからやりやすい」

まじめで野球人の鑑のような主将・木下和哉と、
やるときはやるムードメーカーの副主将・安随広樹。
性格も考え方も対照的ながら、気の合う二人が今年の目標を語る。

**入れ替え戦の経験が
今につながっている**

— おふたりは主将と副主将という立場にありますが、どのような想いでその役割を担っていますか？
木下 自分はあまり周りに強く言えるタイプではありません。自分がしっかりとした行動を取れば、周りがついてきてくれると信じています。だから、何事にも全力で取り組むようにしています。

安随 僕は、監督から、声とか元気がとか、そういう部分を評価されて副主将に指名されたと思っていますので、そこを意識してやっていますね。

— お互いについて他己紹介してもらっていますか？
木下 やる時はやりますし、ふざける時はふざける。まあ、ムードメーカーですね。選手としては去年から試合に出ているんですが、勝負所でしっかりと結果を出す、仕事人という印象です。

安随 主将は、まじめで野球人の鑑のような選手ですね。僕がめざそうと思っても、とても真似できないです。

安随 良くも悪くもまとまりがあるので、良いほうにも行くし、悪いほうにも行くと思う。常に良いほうに持って行けるように、自分たちが引っ張っていきたくて、このチームの雰囲気を作り出すとすれば？
安随 監督と選手の距離感が本当に近い。ここまで指導者といえる話せるのはなかなかないと思うので、選手としてはやりやすいですね。

木下 自主性が求められますし、自分からやらないといけないという雰囲気がある。練習時間が限られるなかで、それ以外の部分でいかに意識を高められるか。自由な時間をどう過ごすかが重要だと思います。

**優勝は目標ではなく
使命感のほうが強い**
— 帝京大学硬式野球部の魅力とは？
木下 上下関係があまりないところですかね。年齢関係なく、グラウンドでも寮でも楽しく生活できています。年下でも年上に意図してやる。お互いが言い合える、そんな良い関係性ができていると思います。

安随 寮がいいですね。あれだけいい寮に住めるのはなかなかないと思いますよ。あそこに住んで、毎日野球ができる。野球好きには

ないです(笑)。選手としても走攻守揃って、頼りになる存在です。

— ここまでの3年間を振り返ると、どのようなことが印象に残っていますか？
木下 去年はずっと試合に出させてもらっていたんですけど、春はチームも自分も調子が上がらなくて、入れ替え戦まで行ってしまいました。結果的に1部に残れたんですが、あの苦しい経験が今につながっていると思います。それがあつたから秋は春よりも勝てるようになったし、負け癖が少しはなくなつたかなと思います。

安随 確かに苦しかったですね。入れ替え戦は二度と経験したくないから、みんな強い気持ちを持って取り組んでいますし、今年のチームは本当に一つにまとまっていると思います。

— 今年のチームのカラーは？
木下 今年はピッチャーが良いので、打線がどれだけ援護できるか。僕らが上手く助けてあげられれば結果は付いてくると思います。

たまらない環境ですね。そんななかで、自分の力での上がっていく。充実した生活が送れていると思います。

— 「熱く、頂点へ」というスローガンを掲げるなか、今年の目標は？
木下 今年こそはリーグ優勝を成し遂げたいです。
安随 もうだいぶ優勝してないですからね。15年くらいですか？(※最後のリーグ優勝は1997年の秋)

木下 今年はいけるんじゃないかなという手ごたえがあります。個人的には、首位打者を取れたらいいですね。
安随 僕も目標はリーグ優勝です。めざすというか、やらなきゃいけないという使命感のほうが強いです。個人的には……

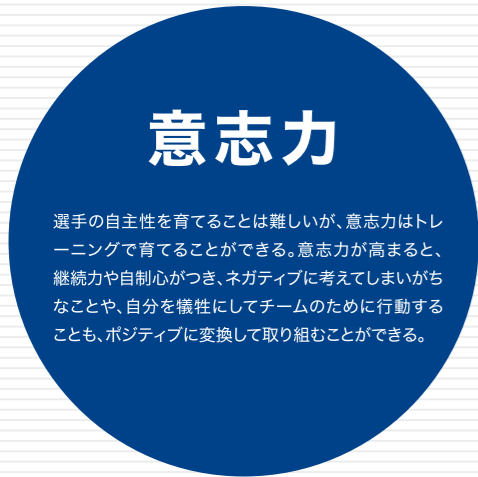
木下 打点王でいいんじゃない？
安随 じゃあ、それで行きましようか(笑)。

人事 天命

木下主将が
心掛ける4字熟語
人間としてできるかまのこころをして、その上は天命に任せて心を労しないという意。自分がしっかりとした行動を取れば、周りがついてきてくれると信じる木下主将らしいチヨイス。



意志力を高めることで継続力と自制心が磨かれる



継続力
 意志力が高まることで、継続力がつく。体カトレーニングを継続する、筋カトレーニングを継続するなど、日々の積み重ねが強固になれば、それだけ野球選手としての質が高まる。「石の上にも3年」の心意気でトレーニングに励もう。

自制心
 自分の心を制する力が高まれば、自分の欲に惑わされることなく、チームのために行動できるはず。ルールを守る、勉強をする、掃除をする、部屋を片付ける。そういったすべての行動が野球のプレーにもつながる。



「個別ミーティングで選手それぞれと克服すべき課題を話し合っている」

レニングを提供していきたいです」
個別ミーティングで選手の細部まで把握する
 大谷コーチは、グループミーティングや個別ミーティングを開き、選手たちを知ることにも力を注いでいる。
 「選手は一人ひとり、性格や考え方が違います。いま取り組んでいることは何か、継続してやり続けていることがあるのか、そういったことを確認しながら今後トレーニングにどう取り組んでいくのかという話に落とし込みます」
 選手からすれば、課題が明確になり、頭が整理された状態でトレーニングに取り組める。
 「これまでに大きい怪我をして戦列を離れたことがあるかどうかという点、その怪我が野球に携わっての怪我なのか、野球以外のことでの怪我なのか、ということも聞きます」
 これで、選手のクセの原因がわかることもあるという。
 「ミーティングは試合に出場しているかどうかは関係なく、春から入ってくる新人も含めて取り組んでいきたいと思っています」
 レギュラーもサブも関係ない。選手一人ひとりと向き合うことで、チーム全体の「意志力」を高めていく。大谷の挑戦は始まったばかりだ。
 END

トレーニングを通して選手の意志力を高める



かつて横浜ベイスターズや千葉ロッテマリーンズでその手腕を振るい、「優勝請負人」とまで言われたトレーニングコーチ。大谷幸弘は、選手たちの「意志力」を育てたいと語る。



■PROFILE

日本体育大学陸上部で指導者の道を歩みはじめ、その後、千葉ロッテマリーンズ、横浜ベイスターズ(現・横浜 DeNAベイスターズ)にてトレーニングコーチを務める。1998年に所属していた横浜ベイスターズでは、日本プロ野球リーグの日本一も経験する。今年1月から帝京大学硬式野球部トレーニングコーチに就任。その手腕に注目が集まる。

帝京大学硬式野球部トレーニングコーチ

大谷幸弘

Yukihiro Ohtani

プロ野球とは違う教育の「一環としての野球の可能性」
 今年1月、かつてプロ野球でも敏腕で知られる大谷幸弘が硬式野球部の陣営に加わった。
 「プロと大学生は違います。プロは個人事業主ですが、大学生は学生です。自覚や責任感はプロのほうが高いでしょう。大学野球は、もちろん勝負の世界ですが、教育の一環としての役割もあります。そこがプロ野球とは違うところだと考えています」
 ルールを守り、自己責任のもとに行動する。一見、当たり前のことのようにだが、大谷は「難しいこと」と表現する。
 「当たり前のことを続けるということは、じつは難しいことです。それを継続するために必要な力が『意志力』だと思っています」
 意志力が高まれば、物事を継続する力や、組織のなかでルールを守る自制心がつく。トレーニングコーチの役割は、体力向上、技術向上はもちろんだが、この意志力を磨いていくことにもあると大谷コーチは言う。
 「トレーニングを組み立てて、選手たちを鍛錬していく役割があると思っています。それは体力や技術はもちろん、心も同様です。トレーニングを積み重ねることが、自己管理の向上や自制心を鍛えることにもつながる。そういうトレーニングを提供していきたいです」



TEIKYO

BASEBALL

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL
YEARBOOK 2017



BASEBALL

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2017

コーチの 美徳

「コーチ(COACH)」は英語で“馬車”の意。馬車は、人や物を希望の場所に運ぶ。つまりコーチの役割は、選手が希望する場所に導いてあげること。今回は二人のコーチに選手を導く美徳を

聞いた。



“学生コーチの可能性”

羽藤 樹生

Juo Hatoh



“選手と共に二人三脚”

渡邊 諒介

Ryosuke Watanabe



「監督や渡邊コーチより選手に近い僕だからできることもある」

「人間性を伸ばすことが選手としての成長を早める」

夢を叶えるための学生コーチという選択

大学3年の秋、羽藤樹生は唐澤良一監督から、ひとつの提案を受け持たされた。「学生コーチにならないか？」羽藤は少し驚いたが、自分の夢を叶えるためにはそれも悪くないんじゃないかなとも思った。羽藤の夢——それは高校野球の監督になることだった。

「高校の先生になって、野球部を受け持つことが僕の夢です。選手ですつとやっていると、選手になるのかなと思いついて、コーチになることを決断しました」

しかし、実際にコーチの立場になってみると、想像していた以上に大変なことに気付かされた。「選手の時は練習が終わればすぐに寮に帰れたんですけど、今はそういうわけにはいきません。最後までグラウンドに残って、チームのために作業するのは、結構きついですね。でも、チームのためだと考えられるようになってからは、その大変さもやりがいとして感じています」

選手時代のポジションがキャッチャーだった羽藤は現在、バッテリーコーチの立場を担い、主にピッチャーに対して指導を行っている。「自分がコーチになって始めたところがあるんです」

技術だけじゃない！勝つために本当に大切なもの

今年でコーチに就任して4年目を迎える渡邊諒介は、チームにとって4年生の影響力はとても大きいと語る。

「大学野球は4年生の質でチームが変わると思っています。4年生の野球のうまさではありません。試合に負けているのにヒットを打ったからいいやとか、逆にチームは勝っているのに自分が活躍できなかつたから不満な顔をする、そういう独りよがりな選手が多いと野球は不思議と勝てないものです」

野球はチームスポーツだ。相手ピッチャーを攻略する時に一丸になれないチームは勝てない。「そのことを学生に伝えることは簡単なことではありません。それが今の自分の課題なのかもしれない」

手作り選手データ表



主にバッテリーコーチを務める羽藤が、ピッチャーの球数などのデータをまとめ、目標や課題を意識させるために選手と交換している自作の書類。

そう笑顔で語る羽藤は今、自分なりに考えた様々なアイデアを指導に取り入れている。例えばピッチャーの球数をデータにまとめたり、目標と課題をレポートとして提出させたり……。『データや数字を見るのが好きなんです』という羽藤は、自身の自由を削ってでも、選手たちのために時間を費やしている。

同じ大学生でありながら、指導者と選手の関係性にあることは、ある種の難しさを感じてはいる。場合によっては厳しく接しなければいけない時もあるからだ。「そこは割り切ってやらないといけないと思っています。慣れ合いになってはいけませんから」

とはいえ、そこは同じ大学生だ。「野球をするうえで嫌われてもいいとは思っています。でも、プライベートでは嫌われないでほしいですね(笑)」

ばつが悪そうに本音を語る羽藤の表情には、普通の大学生と変わらない屈託のない笑顔が浮かんでいる。

「伝えているのに」と思っても伝わらないという意味がない

渡邊コーチ専用ノックバット

渡邊コーチ愛用の一品。ノックはコーチの腕の見せ所。





年間スケジュール 首都大学リーグ

帝京大学が所属する首都大学野球連盟とは？
首都圏近郊に所在する15大学で構成される全日本大学野球連盟の傘下組織である。2016年から1部6大学、2部9大学に改編されている。公式戦は春季と秋季にリーグ戦がそれぞれ行われている。また各リーグ戦の終了後に1部と2部の入れ替え戦も行われている。

2017 春季リーグ 4/1(開会式9:30 スタジアムひらつか) → 5/27(閉会式)

※試合開始時間は、当日の前の試合の終了時間で変更あり。

4/1(土)	東海大学 (○4-1)	14:00	サーティーフォー相模原球場
4/2(日)	東海大学 (○6-5)	12:00	スタジアムひらつか
4/3(月)	予備日	-	スタジアムひらつか
4/8(土)	筑波大学	14:30	秦野カルチャーパーク野球場
4/9(日)	筑波大学	12:00	秦野カルチャーパーク野球場
4/15(土)	予備日	-	大田スタジアム
4/16(日)	予備日	-	大田スタジアム
4/22(土)	桜美林大学	9:30	サーティーフォー相模原球場
4/23(日)	桜美林大学	14:30	サーティーフォー相模原球場
4/29(土)	明星大学	9:30	牛久運動公園野球場
4/30(日)	明星大学	14:30	牛久運動公園野球場
5/6(土)	予備日	-	大和スタジアム
5/7(日)	予備日	-	大和スタジアム
5/13(土)	日本体育大学	12:00	熊谷運動公園野球場
5/14(日)	日本体育大学	9:30	熊谷運動公園野球場
5/20(土)	予備日	-	スタジアムひらつか
5/21(日)	予備日	-	スタジアムひらつか

★順位決定方式

1部リーグ(2戦勝ち点制)の順位は勝ち点をもって決定する。勝ち点は相手チームに2勝した場合に1とし、最終的に勝ち点と同じ場合には勝率をもって決定する。同点同率の場合は当該チーム同士の対戦にて勝ち点を挙げた方を上位とする。

●予備日について

1部リーグは第3週、第6週、第8週の土日を予備日として、原則平日には試合を開催しない。なお、予備日以外にも学生野球意章の趣旨から逸脱することなく、学生の授業を受ける権利に支障をきたさない範囲で、祝日その他の平日開催を実施する。

6位
入れ替え戦

2位~5位
秋季リーグ
1部残留決定

優勝チーム
第66回全日本大学選手権
(6月5日から7日間 ※雨天順延あり)明治神宮球場、東京ドーム
【昨年度優勝チーム】中京学院大学

2017 秋季リーグ 9月上旬開幕予定 → 10月

【参加チーム】
・春季リーグ1部の1位~5位
・入れ替え戦の勝者

3位~5位:1部残留
6位:入れ替え戦

優勝、準優勝チーム

第48回明治神宮野球大会
(11月中旬ごろ予定)
【昨年度優勝チーム】明治大学

優勝、準優勝チーム

横浜市長杯争奪
第13回関東地区
大学野球選手権大会

【球場アクセス】

サーティーフォー相模原球場
●JR「湘野辺」駅南口よりバス「湘野辺公園」下車
●JR「相模原」駅南口よりバス「湘野辺公園」下車
●小田急線「相模大野」駅北口よりバス「湘野辺公園」下車

スタジアムひらつか
●JR「平塚」駅より徒歩20分
●JR「平塚」駅北口よりバス4号線「平塚球場」下車

秦野カルチャーパーク野球場
●小田急線「秦野」駅よりバス「カルチャーパーク前」下車

大田スタジアム
●東京モノレール「流通センター」駅より徒歩15分
●JR「大森」駅東口から京浜急行バス「平和島循環」「京浜島循環」で「倉庫センター」下車徒歩10分

牛久運動公園野球場
●JR常磐線「ひたち野うしく」駅、東口から徒歩5分
「牛久駅」東口から徒歩20分

大和スタジアム
●小田急江ノ島線「桜ヶ丘」駅より徒歩15分
●小田急江ノ島線・相鉄本線「大和」駅より徒歩約20分
●大和駅南口より大和市コミュニティバス(のろっ)「南部ルート」で「引地台公園」下車徒歩2分

熊谷運動公園野球場
●秩父鉄道「ひるせ野鳥の森」駅から約1.5km
●JR高崎線「熊谷」駅、熊谷駅より
熊谷市ゆうゆうバス「運動公園」下車

RESULT

2016年 結果

春季リーグ戦 結果

節	試合日	対戦相手	結果	スコア
第1週	4/2	筑波大学	●	2-5
	4/3	筑波大学	●	2-7
第2週	4/9	桜美林大学	○	1-0
	4/10	桜美林大学	●	3-5
第4週	5/7	桜美林大学	●	0-5
	4/23	日本体育大学	●	1-3
第5週	4/24	日本体育大学	●	2-3
	4/30	東海大学	○	5-1
第7週	5/1	東海大学	○	6-3
	5/14	城西大学	●	2-7
	5/15	城西大学	●	4-6

3勝8敗 勝ち点1 6位

秋季リーグ戦 結果

節	試合日	対戦相手	結果	スコア
第1週	9/3	日本体育大学	○	3-2
	9/4	日本体育大学	●	0-3
第2週	9/5	日本体育大学	●	0-4
	9/10	筑波大学	●	0-3
第3週	9/11	筑波大学	○	4-3
	10/15	筑波大学	○	3-2
第5週	9/17	東海大学	○	6-2
	9/25	東海大学	●	2-8
第6週	10/16	東海大学	●	1-4
	10/1	桜美林大学	○	4-3
第7週	10/2	桜美林大学	○	4-0
	10/8	城西大学	●	0-1
	10/9	城西大学	●	4-5

6勝7敗 勝ち点2 4位

チーム一丸となって戦う 野球部を見に来てほしい

帝京大学硬式野球部 部長

野尻久雄
Hisao Nojiri



風通しのいいチームであってほしい

ひとつの目標に向かってチームが一丸となって戦う。今年は、そういうチームになれると期待しています。選手たちが決めた『熱く、頂点へ』というスローガンに向かって、全員が自分の役割を理解して努力することができれば、優勝も見えてくると思います。チームのために、ときに自分を犠牲にすべきときもあるでしょう。そこで、しっかりとチームのために行動できるかが大切です。

あとは、風通しがいいチームであってほしいです。なんでも仲間同士で話しあえる、監督や上級生にも意見を言える、そういう雰囲気も監督や上級生がつくってほしいです。硬式野球部の選手たちは、就職先でも非常に評判がいい

です。きちんとした挨拶ができ、組織というものを理解して動くことができる人材だからです。

鬼気迫る迫力や頼もしさ
ベンチの一体感にも注目

わたしは、公式戦ではベンチに入って選手を鼓舞することもありますが、チームが一丸となっているときは、ベンチでも選手たちの熱気を感じます。ひとつのプレーに対するリアクションに鬼気迫る迫力や頼もしさがあります。ところが、チームがまとまっていなときは、どこか冷めたような雰囲気です。熱い視線を感じることはできません。そういう意味では、今年のチームはベンチにも期待を持っています。私は来年で定年です。部長職は今年で最後。今年のチームにかける思い入れは強いです。

END

PLAYERS LIST 2017

2017年 帝京大学硬式野球部 プレイヤーズリスト



蛭名 教博 [3年]
Takahiro Ebina
医療技術学部スポーツ医療学科
青森山田高/青森県出身
173cm・73kg
右投左打/二塁手

柏野 拓哉 [4年]
Takuya Kashino
医療技術学部スポーツ医療学科
玉野光南高/岡山県出身
166cm・67kg
右投右打/三塁手

後藤 将太 [1年]
Shota Goto
医療技術学部スポーツ医療学科
神戸国際大学附属高/大阪府出身
178cm・79kg
右投右打

大北 悠介 [1年]
Yusuke Ohkita
医療技術学部スポーツ医療学科
岡山学芸館高/岡山県出身
178cm・80kg
右投右打

中村 郁人 [3年]
Ayato Nakamura
医療技術学部スポーツ医療学科
聖望学園高/埼玉県出身
175cm・75kg
右投右打/三塁手

河原 龍義 [4年]
Ryuki Kawahara
医療技術学部スポーツ医療学科
霞ヶ浦高/茨城県出身
168cm・62kg
右投左打/二塁手

田中 俊之介 [1年]
Shunnosuke Tanaka
医療技術学部スポーツ医療学科
神戸国際大学附属高/東京都出身
180cm・78kg
右投右打

黒田 架瑠 [3年]
Kakeru Kuroda
医療技術学部スポーツ医療学科
千葉経済大学附属高/千葉県出身
176cm・86kg
右投左打

大津 亮介 [1年]
Ryosuke Ohtsu
医療技術学部スポーツ医療学科
九州産業大学附属九州高/福岡県出身
175cm・64kg
右投左打

山内 勇人 [3年]
Hayato Yamane
医療技術学部スポーツ医療学科
大阪商業大学堺高/大阪府出身
182cm・75kg
右投右打/遊撃手

住友 龍志 [4年]
Ryuji Sumioto
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県出身
180cm・79kg
右投右打/遊撃手

山口 昂也 [1年]
Koya Yamaguchi
医療技術学部スポーツ医療学科
県立和歌山商業高/和歌山県出身
176cm・85kg
右投右打

美濃部 尚己 [3年]
Naoki Minobe
医療技術学部スポーツ医療学科
近江高/滋賀県出身
182cm・84kg
右投右打

金田 悠太朗 [1年]
Yutaro Kaneda
医療技術学部スポーツ医療学科
厚木北高/神奈川県出身
176cm・70kg
右投右打

横山 駿斗 [2年]
Shunta Yokoyama
医療技術学部スポーツ医療学科
神戸国際大学附属高/兵庫県出身
178cm・74kg
右投右打

田嶋 優樹 [2年]
Yuki Tajima
医療技術学部スポーツ医療学科
和歌山商業高/和歌山県出身
181cm・82kg
右投右打

山頼 建太 [3年]
Kenta Yamadera
医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高/大阪府出身
174cm・76kg
左投左打

塚口 大樹 [4年]
Daiki Tsukaguchi
医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高/千葉県出身
180cm・80kg
右投右打



渡邊 出帆 [3年]
Izaho Watanabe
経済学部経済学科
御殿場西高/静岡県出身
171cm・81kg
左投左打/一塁手

増田 一樹 [4年]
Kazuki Masuda
医療技術学部スポーツ医療学科
相模向陽館高/神奈川県出身
183cm・85kg
右投右打/三塁手



塚 敏諒 [2年]
Ryo Tsukame
医療技術学部スポーツ医療学科
履正社高/大阪府出身
179cm・82kg
右投右打

中川 航 [1年]
Wataru Nakagawa
医療技術学部スポーツ医療学科
聖望学園高/滋賀県出身
177cm・73kg
右投右打

阿部 卓未 [1年]
Takumi Abe
医療技術学部スポーツ医療学科
玉野光南高/岡山県出身
182cm・76kg
左投左打

南木 良隆 [2年]
Yoshihiko Namoku
医療技術学部スポーツ医療学科
横浜高/神奈川県出身
170cm・73kg
左投左打

米村 遥己 [3年]
Haruki Yonemura
医療技術学部スポーツ医療学科
八千代松陰高/千葉県出身
180cm・79kg
右投左打

本野 一哉 [4年]
Kazuya Motono
医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高/大阪府出身
175cm・70kg
左投左打

小倉 大生 [4年]
Taisei Ogura
医療技術学部スポーツ医療学科
岡山学芸館高/岡山県出身
175cm・80kg
右投右打

宇地原 海斗 [2年]
Kaito Ujihara
医療技術学部スポーツ医療学科
岡山学芸館高/沖縄県出身
178cm・77kg
右投左打/三塁手

松本 大輝 [4年]
Daiki Matsumoto
医療技術学部スポーツ医療学科
PL学園高/大阪府出身
178cm・82kg
右投左打/一塁手

安随 広樹 副主将 [4年]
Hirosaki Anzui
医療技術学部スポーツ医療学科
聖望学園高/埼玉県出身
182cm・82kg
右投左打/一塁手

原田 海都 [2年]
Kaito Harada
医療技術学部スポーツ医療学科
市立川越高/埼玉県出身
175cm・79kg
右投右打

岩國 健大 [1年]
Kenji Iwakuni
医療技術学部スポーツ医療学科
ふじみ野高/埼玉県出身
173cm・66kg
右投左打

廣畑 敦也 [2年]
Atsuya Hirohata
医療技術学部スポーツ医療学科
玉野光南高/岡山県出身
174cm・75kg
右投右打

大深 穰 [2年]
Jo Osuka
医療技術学部スポーツ医療学科
広島新庄高/広島県出身
178cm・72kg
右投左打

臼井 直哉 [3年]
Naoya Usui
医療技術学部スポーツ医療学科
上満南高/神奈川県出身
175cm・73kg
右投右打

菊地 丈留 [4年]
Takekuni Kikuchi
医療技術学部スポーツ医療学科
帝京高/埼玉県出身
181cm・80kg
左投左打

森夏美 [4年]



Natsumi Mori

連盟マネージャー
経済学部経営学科
横浜市立南高 / 神奈川県出身
154cm

今谷真一郎 [1年]



Shinichirou Imatani

学生コーチ
医療技術学部スポーツ医療学科
滋賀学園高 / 大阪府出身
172cm・67kg / 右投左打

吉川雄真 [1年]



Yuma Yoshikawa

医療技術学部スポーツ医療学科
横浜隼人高 / 神奈川県出身
178cm・79kg
右投左打

喜納智志 [2年]



Satoshi Kina

医療技術学部スポーツ医療学科
岡山芸芸館高 / 沖縄県出身
180cm・83kg
右投右打

安並大輔 [4年]



Daibuke Yasumami

医療技術学部スポーツ医療学科
山梨学院大学附属高 / 神奈川県出身
170cm・67kg
右投左打



角田之仁 [1年]



Yukihito Tsunoda

医療技術学部スポーツ医療学科
鎌子商業高 / 茨城県出身
178cm・82kg
左投左打 / 一塁手

星田嶺央 [2年]



Leo Hoshida

医療技術学部スポーツ医療学科
八千代松陰高 / 新潟県出身
168cm・68kg
右投両打 / 遊撃手

大橋慶久 [2年]



Yoshitaka Ohashi

医療技術学部スポーツ医療学科
宇都宮工業高 / 栃木県出身
188cm・93kg
右投左打 / 一塁手

若林歩実 [4年]



Ayumi Wakabayashi

連盟マネージャー
外国語学部外国語学科
都立広尾高 / 東京都出身
156cm

藤野直仁 [4年]



Naoto Fujino

主務
医療技術学部スポーツ医療学科
京都両洋高 / 京都府出身
172cm・74kg / 右投右打



辻涼介 [2年]



Ryosuke Tsuji

医療技術学部スポーツ医療学科
PL学園高 / 大阪府出身
180cm・77kg
右投右打

糸川慶哉 [3年]



Keiya Itokawa

医療技術学部スポーツ医療学科
志学館高 / 千葉県出身
183cm・87kg
右投右打

磯部知明 [4年]



Toshiaki Isobe

医療技術学部スポーツ医療学科
横浜商科大学高 / 神奈川県出身
179cm・77kg
右投右打

徳田大沙 [1年]



Taisha Tokuda

医療技術学部スポーツ医療学科
八戸学院光星高 / 奈良県出身
176cm・72kg
右投右打 / 三塁手

米澤克実 [2年]



Kazumi Yonezawa

医療技術学部スポーツ医療学科
金光大阪高 / 兵庫県出身
179cm・76kg
右投右打 / 遊撃手

佐藤虹輝 [2年]



Koki Sato

医療技術学部スポーツ医療学科
市立船橋高 / 千葉県出身
175cm・80kg
右投左打 / 二塁手

安藤ひより [2年]



Hiyori Andoh

連盟マネージャー
医療技術学部スポーツ医療学科
鹿沼高 / 栃木県出身
152cm

青山拓弥 [3年]



Takumi Aoyama

副務
医療技術学部スポーツ医療学科
東邦高 / 愛知県出身
171cm・66kg

羽藤樹生 [4年]



Taro Hazeh

学生コーチ
医療技術学部スポーツ医療学科
玉野光南高 / 岡山県出身
174cm・73kg / 右投右打

伊東優作 [1年]



Yusaku Itoh

医療技術学部スポーツ医療学科
近江高 / 滋賀県出身
165cm・67kg
右投左打

山野凱也 [3年]



Kaiya Yamano

医療技術学部スポーツ医療学科
福岡大学附属大濠高 / 福岡県出身
184cm・84kg
右投左打

岩田康平 [4年] 寮長



Kouhei Iwata

医療技術学部スポーツ医療学科
県立和歌山商業高 / 和歌山県出身
179cm・79kg
右投左打

松岡立城 [1年]



Tatsuki Matsuo

医療技術学部スポーツ医療学科
滋賀学園高 / 大阪府出身
170cm・83kg
右投左打 / 三塁手

井出智也 [1年]



Tomoya Ide

医療技術学部スポーツ医療学科
飛龍高 / 静岡県出身
173cm・82kg
右投右打 / 一塁手

下迫圭太 [2年]



Keita Shimozaki

医療技術学部スポーツ医療学科
滋賀学園高 / 兵庫県出身
168cm・69kg
右投左打 / 二塁手

木寺加奈 [2年]



Kana Kidera

連盟マネージャー
文学部心理学科
横浜商科大学高 / 神奈川県出身
160cm

四條尚彦 [2年]



Naohiko Suifu

マネージャー
医療技術学部スポーツ医療学科
向上高 / 神奈川県出身
170cm・83kg

秋山大輔 [2年]



Daibuke Akiyama

学生コーチ
経済学部経済学科
帝京第三高 / 千葉県出身
159cm・60kg / 右投両打

後泰希 [1年]



Taiki Ushiro

医療技術学部スポーツ医療学科
岡山芸芸館高 / 和歌山県出身
180cm・83kg
右投左打

池田陵太 [2年]



Ryota Ikeda

医療技術学部スポーツ医療学科
奈良大学附属高 / 奈良県出身
185cm・88kg
左投左打

木下和哉 [4年] 主将



Kazuya Kinoshita

医療技術学部スポーツ医療学科
横浜隼人高 / 神奈川県出身
174cm・77kg
左投左打

森元啓雄 [1年]



Yoshio Morimoto

医療技術学部スポーツ医療学科
京都翔英高 / 京都府出身
165cm・71kg
右投左打 / 二塁手

相良朋慶 [1年]



Tomoyoshi Sagara

医療技術学部スポーツ医療学科
西城陽高 / 京都府出身
169cm・73kg
右投右打 / 遊撃手

西川拓馬 [2年]



Takuma Nishikawa

医療技術学部スポーツ医療学科
日本大学藤沢高 / 神奈川県出身
181cm・83kg
右投右打 / 三塁手

村井ももか [2年]



Momoka Murai

連盟マネージャー
医療技術学部スポーツ医療学科
瀬谷高 / 神奈川県出身
169cm

横田冬馬 [1年]



Touma Yokota

マネージャー
医療技術学部スポーツ医療学科
川越市立川越高 / 埼玉県出身
165cm・65kg

太田健裕 [2年]



Takehiro Ohta

学生コーチ
医療技術学部スポーツ医療学科
学校法人石川高 / 福島県出身
182cm・65kg / 右投右打

岡部伶音 [1年]



Reo Okabe

医療技術学部スポーツ医療学科
玉野光南高 / 福島県出身
183cm・85kg
右投右打

岡田傑 [2年]



Suguru Okada

医療技術学部スポーツ医療学科
横浜隼人高 / 神奈川県出身
178cm・77kg
右投右打

林田竜郎 [4年]



Tatsuro Hayashida

医療技術学部スポーツ医療学科
大阪商業大学堺高 / 大阪府出身
181cm・83kg
右投右打

高橋直暉 [1年]



Naoki Takahashi

医療技術学部スポーツ医療学科
智辯学園高 / 奈良県出身
175cm・81kg
右投右打 / 一塁手

藤田春樹 [2年]



Haruki Fujita

医療技術学部スポーツ医療学科
学法石川高 / 福島県出身
184cm・86kg
右投右打 / 遊撃手

INTERVIEW

大怪我による挫折を乗り越えて、今の自分がある。高校時代の大怪我で選手生命を絶たれ、それでも野球の道を歩み続ける理由とは。自身が「天職」と表現する“主務の道”を歩む藤野直仁主務に話を聞いた。



帝京大学硬式野球部 4年主務

藤野 直仁
Naoto Fujino

「2度のアキレス腱断裂から
ぼくを救ってくれた主務の道」

怪我で選手を断念し
マネージャーの道に

藤野直仁がマネージャーとして活動するようになったのは、高校2年生の時だ。二度のアキレス腱断裂により選手生命を絶たれると、高校の監督にコーチ兼マネージャーという道を勧められた。やりたいことを続けられないと分かった時、人はおそらく自暴自棄に陥りかねない。しかし、藤野はそうはならなかった。監督から与えられた新たな役割を前向きに受け入れたのだ。それには理由があった。

「中学の時、僕はどうしてもないう子だったんですよ(笑)でも、高校の監督は、野球の実力だけを見てくれて、僕を推薦で取ってくれたんです。信頼する監督の言うことなら間違いのないと思い、マネージャーをやることに決めました」

運命とは面白いもので、自ら望んだわけではないマネージャーという役割は、藤野にとって天職だった。

「お前は見る目があると、先輩からも言われていたんです。キャッチャーをやっていたこともあり、全体に目を配ることが自然と身に付いていたのかもしれない。それに、もともと好きだったんでしょうね。周りをサポートすることが」



藤野主務の秘ツール
主務ノート

選手の仕草やプレーを観察し、気になったことはどんなに些細なことでもメモする。藤野の主務ノートは、現在4冊目。よく気づき、仲間のことを思いやることのできる藤野らしさが溢れるマル秘ツールだ。

藤野の仕事ぶりは、やがて唐澤監督の目に留まり、マネージャーとして帝京大学硬式野球部にスカウトされることになる。

「ありがとうございます
神宮で胸上げされたらいいな」

主務の仕事は多岐に渡る。遠征のバスの手配や、オープン戦のマッチメイク、いろいろな大会に出向いては、他大学との新たな交流を築くことも求められる。経理全般や用具の手配も藤野の仕事だ。ただ藤野が一番大事にしているのは、スタッフと選手をつなぐ役割だ。

「常日頃から選手とコミュニケーションを取って、どんな些細な話でも聞いてあげること。そういう仕事メインかなと思っていました」

勝負の世界である以上、頑張っている選手が報われないこともある。でも、その頑張り自体が監督に伝わらないのはもどかしい。

「だから、あいつはいつも一番早くグラウンドに来て練習しているとか、気持ちが一番強いのはあいつですねとか、僕なりの意見を監督に伝えるようにしています」

全体に目を配らせ、黒子役としてチームをサポートしていく。それは藤野が持つ天性の能力なのかもしれない。そんな藤野には、ひとつのイメージがある。

「キャッチボールの距離が短くなっている選手を見るとどこか痛いのではないかと心配になる」



「神宮で胸上げされたらいいですね。ありがとうございます、それが一番嬉しいです」
藤野の身体が仲間たちの手によって、神宮球場の宙に舞う。今年の帝京大学硬式野球部のドラマには、そんな結末が待ち受けているかもしれない。

「やる気に満ちる
いまの野球部が好き」



連盟マネージャー
森 夏美 Natsumi Mori

私は連盟マネージャーという立場なので、普段からチームに同行しているわけではありません。グラウンドに来るのは、年に10回ちょっと(笑)。本当は毎日顔を出してチームをサポートしたいと思っているのですが、今の役割には、少し物足りなさを感じています。

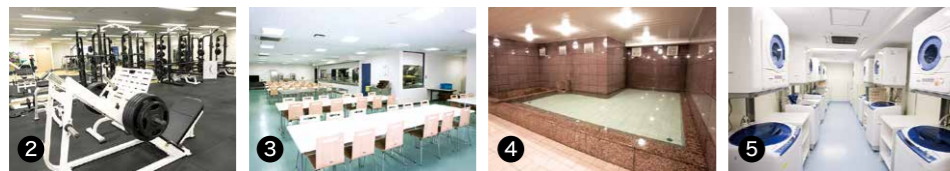
去年のキャンプに女子マネージャーとして初めて、全日程に同行させてもらいました。でも、付いていったのはいいんですが、役に立っていったか疑問です(笑)。

ただ、それまでは少し選手との距離を感じていましたが、そこでようやく近づけた気がします。下級

生ともコミュニケーションを取れるようになりました。

私は大学で、スポーツ経営を学んでいて、2年生の夏にアメリカに研修に行っただけです。そこで大学スポーツを生で観戦して、すごく感動しました。それと同時に、なんで日本とアメリカでこんなに違うんだろうと、悔しい気持ちも味わいました。

今、私が考えているのはSNSを使ってチームの情報を発信すること。大学スポーツを盛り上げたいですし、なにより選手たちが頑張っている姿を、たくさんの人に知ってもらいたいですからね。



施設紹介

- ①地下にある室内練習場。「雨の日だったり、練習後の自由時間にここでバットを振ったりします」
- ②最新の設備が揃うウエイトルームも完備。「パワーアップのために日々、筋力強化に動んでいます」
- ③おいしい食事が提供される食堂。「好きなものを好きなだけ食べられます。食べすぎ注意!(笑)」
- ④清潔に保たれている大浴場。「疲れが一気に取れます。水風呂もあるので交代浴もできますよ!」
- ⑤30台近くの洗濯機が設置されるランドリールーム。「たくさんあるので順番待ちはありません」

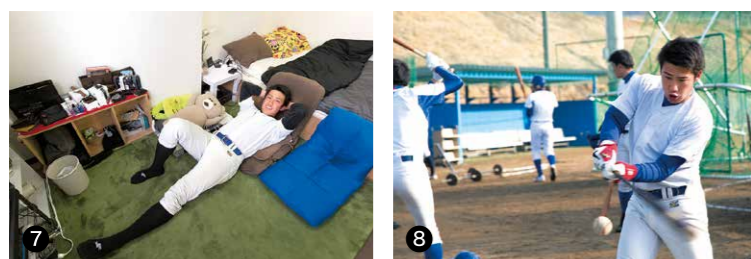
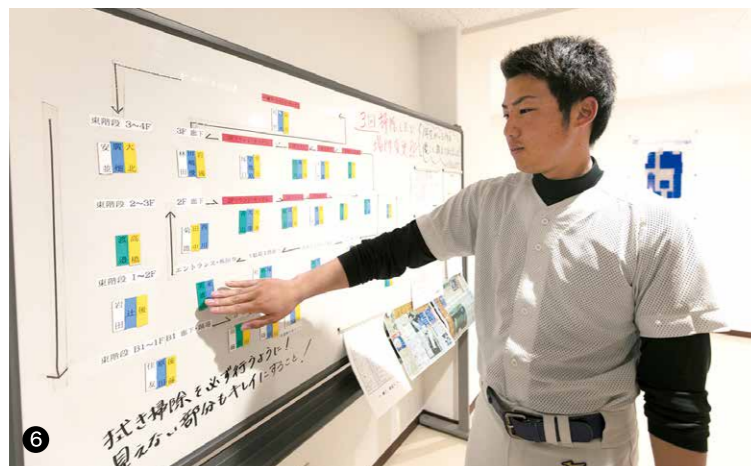


野球だけに打ち込める
野球好きにはたまらない暮らし。

帝京大学硬式野球部・寮長

岩田康平の一日

大学4年間に野球に懸ける。そんな意気込みで帝京大学硬式野球部の門を叩く選手たち。彼らの生活の中心となる合宿所を紹介する。室内練習場にウエイトルーム、大浴場まで完備した野球人にはたまらない暮らしが待っている。



寮長の日課

- ⑥掃除の管理は寮長の仕事。だれがどこを掃除するかをホワイトボードで整理し、きちんと見回る。
- ⑦ルームメイトと過ごす相部屋。自分のスペースはリラックスしやすいように自由にコーディネートできる。
- ⑧トレーニング中の寮長は真剣モード。

寮長の一日

就寝	自由時間	全体練習	夕食	学校	昼食	学校	朝食	起床	平日
23時	21時	18時	17時	16時	12時	8時	7時	6時	

快適な生活を保つため
掃除にはこだわってます!

寮長というキャラではないので監督から指名された時は僕自身も驚きましたし、周りも「嘘やる?」という反応でした。ごく人並な生活を送ってましたから(笑)。

でも寮長になった以上はしっかりとやらなきゃいけない。特に意識しているのは掃除です。きちんと見回って、少しでも汚ければ、やり直させる。そこは徹底してやっていますので今のところは、きれいに保っていると思います。

寮のルールも寮長の権限で決められます。例えば門限は2年生以下は21時30分で、3年生以上は22時。最寄駅からバスに乗らなければいけないので、同じ時間にしてしまうとバスが混雑して、一般の方に迷惑が掛かってしまう。そこを考慮して、時間をずらすようにしました。寮生活は本当に快適です。建物自体がきれいだし、室内練習場やウエイトルームも完備されているので、野球中心の生活を送れていますね。部屋は2人か3人部屋で、上級生と下級生の組み合わせです。うちは上下関係がないので、みんな仲良く生活していると思いますよ。ちょっと困るのは、食事がおいしすぎることに。バイキング形式なんですごくいい好きなものを食べすぎてしまう。大学に入ってから少し太ってしまいました(笑)。

END



小ホール
(500人収容)

大ホール(1000人収容)
1000名を収容できる大ホールでは、一度に多くの学生が有意義な講義が受けられます。

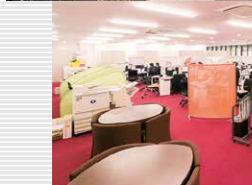


ACT Two(情報学習室)

ACT(Active Learning & Creative ToolBox)では、グループ学習など多様な学習スタイルへの対応、マルチメディア設備の充実を図り、学生の主体的な学習をサポートしています。
※ACT Oneは、MELIC 2階にあります。



メディアライブラリーセンター(MELIC)
蔵書75万冊、1800席の快適な読書・学習空間。PCステーション、グループ学習室は、多くの学生がレポート作成やグループワークに活用しています。



キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターでは、「就業力育成」「生涯サポート」「キャリアデザイン演習」という、大学トップレベルのキャリア形成支援プログラムで個々の学生のキャリア実現をサポートしていきます。



一般教室

教員と学生の一体感を持った授業展開が可能な教室となっています。



総合博物館

帝京大学総合博物館では、大学の歴史や多摩地域の自然を写真や実物資料、映像を交えて展示する常設展示コーナーと、短時間で展示内容が変化する企画展示コーナーの展示を楽しむことができます。

ソラティオ スクエア 「SORATIO SQUARE」 宙 × 理性 = 可能性 SORA RATIO

SORATIOとは、果てしない大空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「SORA(宙)」とラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語で、帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様子を表現しています。また、高層部・低層部から成る建物群をSQUARE(広場)として捉え、「SORATIO SQUARE(ソラティオ スクエア)」と名付けました。

NEW HACHIOJI CAMPUS 八王子キャンパス校舎棟 「SORATIO SQUARE」

**硬式野球部の部員
全員が学ぶ**

最新施設と設備で 充実した学びの環境を提供

帝京大学八王子キャンパスのリニューアルで誕生した校舎棟「SORATIO SQUARE」は、地下2階、地上22階で免震構造を採用し、省エネにも配慮した校舎です。

また、多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体的にデザインすることにより、帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表現しています。硬式野球部の部員全員がこのキャンパスで学んでいます。

「自分流」で学べる10学部

【医学部】医学科 【薬学部】薬学科

【経済学部】経済学科 / 国際経済学科* / 地域経済学科 / 経営学科 / 観光経営学科

【法学部】法律学科 / 政治学科* 【文学部】日本文化学科 / 史学科 / 社会学科 / 心理学科

【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科 / 初等教育学科

【理工学部】機械・精密システム工学科 / 航空宇宙工学科 / 情報電子工学科

バイオサイエンス学科 / 情報科学科(通信教育課程)

【医療技術学部】視能矯正学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 臨床検査学科

スポーツ医療学科 / 柔道整復学科

【福岡医療技術学部】理学療法学科 / 作業療法学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 医療技術学科

※は仮称・設置構想中であり、掲載内容が変更となる場合があります

全国に広がる5つのキャンパス

八王子キャンパス / 板橋キャンパス / 宇都宮キャンパス / 福岡キャンパス / 霞ヶ関キャンパス

帝京大学硬式野球部 イヤーブック2017

2017年4月発行

編集：出川敬太(ポリバレンタ株式会社)

撮影：川本聖哉

デザイン：竹谷豊(株式会社インプワークス)

進行管理：株式会社アドフロンテ

発行：帝京大学本部広報課 東京都板橋区加賀2-11-1

本誌掲載記事、写真等の無断複製・複製・転載を禁じます。
©TEIKYO UNIVERSITY 2017

帝京大学
硬式野球部公式
ホームページ

最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<http://baseball.teikyouuniv.jp/>

帝京大学 硬式野球部



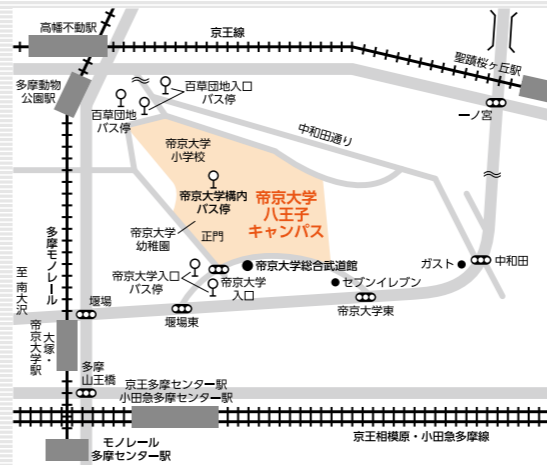
アカデミックラウンジ

イベントや交流の場としてさまざまな用途に活用できる多目的のスペースです。



エントランスホール

ソラティオ スクエアの名に相応しい6階の高さの吹き抜けは広々として開放感に満ち溢れています。



I期

2015年5月完成

一般教室のほか、音楽室や模擬授業室等の各種実習室やアクティブラーニング教室を設置。一般教室では、教員と学生が一体感を持った授業を展開するため、少人数制の教室を90室程度設置しました。また、グループ学習室を備えた、常設PC設置空間を作り、学生の主体的な学びを支えています。さらに、女性専用ラウンジや地下1階には総合博物館を開館しました。

II期

2017年11月完成予定(2018年4月 使用開始予定)

一般教室のほか、1000名を収容できる大ホールや座席数1000以上の学生食堂を設置します。また、観覧席を備えたアリーナ棟は、バスケットボールコート、バレーボールコート等を設置する予定です。

